

令和7年度 業界等の課題・要望項目 集約一覧

1. 「11部会」課題・要望項目

部会名	開催日	項目	課題・要望等
①繊維衣料 出席者数：15名 部会員数：54名	5/20 (火)	人手不足の解消に向けた若者の地元定着支援	・若者の地元定着については簡単に解決できる手段はなく、継続的に取り組んでいく必要があります。 ・奨学金の返還支援制度や地元企業に就職した際の引っ越し費用の助成など、地元定着に向けた支援制度の拡充を要望します。 ・また、若者はインターネットやSNSだけで情報を入手していることから、こうしたネット世代に対する情報発信の強化を要望します。
		コンパクトシティの実現に向けた施策の拡充	・長岡市では、郊外への人口流出が続く中、中心市街地への居住を促進する施策や、高齢者や交通弱者の移動を支援するため、公共交通機関のさらなる整備が必要です。 ・「安全・安心で持続可能なコンパクトなまち 長岡」の実現に向けた施策の拡充を要望します。
②食品 出席者数：18名 部会員数：210名	5/26 (月)	人手不足に対する施策の実施	・人手不足の課題は業種・業態によって様々である。短期間で実施できることは限られているので、個社のニーズに応じた具体的な支援を継続してほしい。 ・年収の壁の見直しが検討されているが、引き続き、働きたい方が働きたいだけ働ける環境づくりをお願いしたい。
		食の魅力発信による交流人口の創出	・全国に「長岡は美味しい」というイメージを発信し、交流人口の創出につなげてほしい。 ・また、一企業単独での情報発信には限度があることから、地域全体として食の魅力発信に取り組んでほしい。
		サステナブルな食品産業の確立に向けた支援	・食品産業においては、価格面も含めた原材料の安定供給が喫緊の課題である。 ・原材料を生産する農林水産業の育成支援と廃棄物の削減、再資源化の推進をお願いしたい。 ・あわせて、地域経済の活性化、食の安全保障、雇用創出につながるサステナブルな食品産業の確立に向けた支援をお願いしたい。
③生活用品 出席者数：11名 部会員数：159名	5/28 (水)	U・Iターンの促進・強化	・高卒での就職が減少しており、奨学金を得たうえで進学する若者が増加していることがうかがえる。県外に進学した学生のU・Iターンの増加に向けて、先行する他の自治体の取り組みなども参考に、一括払いの奨学金返済制度の創設など思い切った若者優遇策を検討いただきたい。
		長岡の長所に関する広報の強化	・治安の良さや住みやすさなど、長岡で暮らすメリットをもっと強くPRしてほしい。 ・インバウンドの取り込みを見据え、海や山など豊富な自然についてもアピールしていただきたい。 ・また、「錦鯉発祥の地長岡」として、様々な形でPRを継続して行っていただきたい。
		中心市街地の活性化	・中心市街地ではホテルやマンション建設の動きがあるものの、小売業を中心に厳しい商環境が続いている。賑わいの創出に向け、空きテナントの解消や新規店舗の出店に対する支援について力を入れて取り組んでいただきたい。
④機械・電機 出席者数：23名 部会員数：376名	5/19 (月)	産業廃棄物処理への対応	・引き続き、県内の産業廃棄物処分場の整備促進を要望するとともに、鋳物廃砂については、他県の先進的な取り組みも参考に、新潟県内でもこれまで以上にリサイクルが促進されるよう、支援をお願いしたい。
		外国人雇用を含めた人手不足への対応強化	・外国人雇用については、ほかの自治体も参考に、家賃補助などの手厚い支援や、外国人が住宅を借りる際に地域の前向きな受け入れ雰囲気醸成などもお願いしたい。 ・様々な事情があり未就労状態である日本人についても、雇用する際の支援をお願いしたい。
		長岡の企業や地域の魅力発信の強化	・地元高校・大学生を含めた若者やU・Iターン希望者に対し、長岡の魅力（花火、日本酒、交通の利便性など）をこれまで以上に積極的に発信してほしい。 ・合わせて「ものづくりのまち・長岡」ということを改めて官民一体となってPRし、長岡の企業へ多くの方から興味を持ってもらえるよう、情報発信をお願いしたい。
⑤一般工業 出席者数：12名 部会員数：101名	5/22 (木)	ミドルシニア人材の活躍支援	・ミドルシニア世代（退職者、退職予定者）を新たに採用出来るならば、受け入れる企業側は戦力としての活用と長期雇用による人材確保が見込めることから経営の安定に寄与できるものと考えます。 ・については、新たな就業機会の確保やリカレント教育の提供など、体力も意欲もあるミドルシニア世代（中高年層）が新戦力としてやりがいをもって再就職できる仕組みづくりをお願いしたい。
		若者と企業の橋渡し施策	・新潟県内の若者や市内出身の学生が、長岡の企業や魅力を知ることができる機会の創出と、マッチングを増やすための若者と企業との橋渡し仕組みづくりをお願いしたい。 ・「THE NIIGATA」などのアンテナショップを活用した企業紹介やマッチングイベントなども開催して欲しい。
		少人化につながるDXの推進	・デジタル化やDXは業務の効率化やビジネスモデルの変革のために必須であるが、デジタル技術の導入にとどまっている現状があります。 ・人材確保が難しいなか、少人化経営に対応するデジタル技術の導入について支援メニューの拡充と普及に向けた具体的な事例紹介をお願いしたい。
⑥建設 出席者数：35名 部会員数：576名	6/2 (月)	建設業界の人材確保に向けた情報発信の支援	・就職先の選択肢として建設業界を選んでもらえるように、小中学生の建設業界に触れる機会の創出をお願いしたい。 ・県外に進学した学生のU・Iターンに向けて、長岡市内の企業に関する情報を積極的に発信してほしい。
		地域に必要な人材育成に向けた教育支援	・高等学校・高等教育機関において、学生が卒業後すぐに専門資格を取得して社会で活躍できるように、実践的な教育プログラムの取り入れをお願いしたい。

部会名	開催日	項目	課題・要望等
⑦金融 出席者数：19名 部会員数：67名	5/27 (火)	人手確保・若者定着の強化	・現在の人手不足を解消するには、4大学1高専の学生が地元企業に就職することや、Uターン若者の増やすことが必須である。ついては、4大学1高専の学生に向けた地元企業のPR強化や、4大学1高専の学生を採用した企業への優遇措置の新設をお願いしたい。 ・また、新潟県出身の首都圏大学生をグループینگし、地元企業のPRや地元の有益な情報を積極的に発信するようなシステムづくりをお願いしたい。
		交流人口の拡大	・インバウンドによる交流人口を拡大し、現在少ないインバウンドを増加させるため、長岡花火やその他の地域資源のPR強化をお願いしたい。 ・新幹線の停車駅というメリットを活かし、長岡駅周辺に長岡ラーメン博物館をつくり、多くの観光客の増加に繋げるようお願いしたい。
		事業承継への支援強化	・事業承継が円滑に進められるように、無料相談会やマッチング支援のPRを強化するとともに、長岡市・金融機関・当所が連携し実施できるような仕組みづくりをお願いしたい。
		長岡市制度融資、並びに保証料補給の拡充	・長岡市は、昨年度に引き続き今年度も「制度融資活用サポート補助金」の拡充や新設をしていただき感謝しております。引き続き、企業のニーズに合った融資への支援、並びに信用保証料補助をお願いしたい。特に、利用者の多いカードローン・ミニカードローンを長岡市制度融資に新たに加えていただくようお願いしたい。 ・また、トランプ関税で影響を受けた企業への救済制度として、補助金の新設をお願いしたい。
⑧運輸・交通 出席者数：12名 部会員数：153名	5/28 (水)	地域の人材確保と資格取得支援の強化	・若者の県外流出防止、外国人や女性、障害者など多様な人材を長岡地域で確保のために、定住に向けた支援強化と住みやすい地域づくりをお願いしたい。 ・業界への人材定着に向けて、2種免許の取得及び中・大型免許や自動車整備士などの資格取得に向けた支援をお願いしたい。
		安定した経済活動のための交通環境の整備推進	・経済活動の基盤となる道路交通が安全に停滞することなく行えるように、冬期の車道並びに歩道の除雪、白線塗装など道路維持管理予算の十分な確保をお願いしたい。 ・蔵王橋やフェニックス大橋の橋詰部分など主要交差点の渋滞緩和、東バイパスの立体化整備など交通環境改善に向けて、関係機関へ強力な働きかけをお願いしたい。
⑨観光・サービス 出席者数：30名 部会員数：486名	5/23 (金)	インバウンド対策と魅力発信の強化	・交流人口を拡大するためにはインバウンド対策は大きな要素である。インバウンドに対する関係者間の認識を統一して受け入れ体制を強化するとともに、観光資源の新たな魅力を創造・発信するなど、外国人観光客を誘客する取り組みを強化いただくようお願いしたい。
		錦鯉を活用した地域資源のPR強化	・花火以外の地域資源として、認知度の高い錦鯉の露出を増やし、錦鯉発祥の地としてPRを強化いただくようお願いしたい。
		地域特性を活かした受け入れ体制の整備	・他地域と差別化を図るには、地域特性を打ち出す体験型の民泊や長岡らしいおもてなしのコンテンツを増やすことも必要。宿泊施設や観光拠点間の移動補助等、長岡全体の仕組みとして受け入れ体制の整備をお願いしたい。
⑩情報・専門 出席者数：29名 部会員数：394名	5/19 (月)	地元定着と流入人口拡大を目的とした施策の強化	・市内の学生や若者が進学・就職を機に県外に流出するケースが多く見られる。地元定着を図るための企業の採用支援や若者の起業支援の施策拡充をお願いしたい。 ・併せて、日常的に賑やかなまちなかの創出や歴史資源を活用した観光施策により、市外・県外から注目を集める情報発信や受け入れ体制を整備して欲しい。
		幅広い世代の多様な働き方の支援	・若者や女性、外国人など多様な人材の活躍を目指す企業に対して、環境整備や情報発信を支援する施策をお願いしたい。 ・また、シニア人材の活用を拡大するため、採用を支援する施策の拡充とリスクリングの仕組みを提供して欲しい。
⑪健康・医療福祉 出席者数：17名 部会員数：80名	5/29 (木)	医療・福祉分野の人材確保に向けた支援策の拡充（継続）	・医療・福祉分野における人材不足が深刻化していることから、外国人就労者の受け入れ体制の支援強化と長岡市独自の人材確保に向けた支援策を拡充して欲しい。
		引きこもりや障害者の就労と人手不足の解消に向けた支援策の整備	・全業界で人手不足が経営課題とされている中、引きこもりや障害者の就労支援は事業者と互いに補完しあえる可能性があり、包括的な支援が求められるため、企業と福祉事業者との連携体制に向けた支援をお願いしたい。

2.「振興委員会議（東西南北）」課題・要望項目

ブロック名	開催日	項目	課題・要望等
⑫東ブロック 出席者数：7名 振興委員数：8名	6/5 (木)	長岡駅前のにぎわい創出と公共交通機関のインフラ整備	▪ 人口減少が今後も進む中で中心市街地に人が集まる仕組みづくり、コンパクトシティへの推進が必要不可欠である。 ▪ 路線バスの運行本数が減少しており、通勤時間帯の変更から営業時間にも影響を受けているので、公共交通の安定供給に向けた支援をお願いしたい。
		新たなアプローチによる観光客の誘致	▪ マンガやドラマの舞台となった地域の聖地化に向けた情報発信、YouTubeなどを活用し、新たな魅力発信への支援を強化して欲しい。
⑬西ブロック 出席者数：3名 振興委員数：7名	5/26 (月)	採用募集に対する資金面での支援拡充	▪ 求人募集はコストをかけなければ効果がないと聞いているが、小規模事業者は求人募集にコストをかけることができない。 ▪ 採用募集に対する助成金など資金面での支援をしてほしい。
⑭南ブロック 出席者数：4名 部会員数：8名	6/3 (火)	子育て支援の充実	▪ 子育て世帯の家計が苦しくなると、消費の減少につながり、経済の停滞に繋がる。そうした世帯への支援策の拡充をお願いしたい。 ▪ 共働きの世帯が安心して子育てができるような保育施設の充実をお願いしたい。
		中心市街地の活性化施策	▪ 長岡駅の東側を含めた中心市街地に人が集まるようなイベントをはじめとした施策をさらに拡充してもらいたい。
		長岡への大企業の誘致	▪ 長岡市に全国的に有名な企業を誘致することで、長岡への人口流入を狙うとともに、長岡での雇用の促進に繋げられるような施策をお願いしたい。
⑮北ブロック 出席者数：5名 委員数：7名	5/30 (金)	ETC2.0を活用した誘客促進	▪ 長岡は関越・北陸自動車道の結節点であり交通の要所になっており、道の駅「ながおか花火館」を高速道路の休息地（ETC2.0）にすることで、観光誘客を促進して欲しい。
		学生への地元企業の認知拡大	▪ 学生の地元就職を促進するためには、地元企業の認知拡大が必要である。ポスターや動画など学校施設を活用した企業PRの仕組みづくりをお願いしたい。

3.「地域活性化委員会&観光・サービス部会」課題・要望項目

委員会名	開催日	項目	課題・要望等
⑩地域活性化委員会&観光・サービス部会役員合同会議 出席者数：13名 委員数：12名 部会役員数：8名	5/23 (金)	長岡市の観光分野を統括する組織と推進体制の構築	▪ 長岡地域の魅力向上と交流人口を拡大するため、長岡市の観光分野における取り組みを行っている団体や行政をまとめる新たな組織を設置し、推進体制を強化するようお願いしたい。
		広域連携の強化	▪ 長岡の誘客を促進するため、外国人観光客の多い湯沢や妙高、世界遺産の佐渡など新潟県内の市町村との広域連携を一層強化いただくようお願いしたい。